

IR

I nstitutional R esearch

担当者向け 実践プログラム 開講



山形大学 学長
小山 清人
Kiyohito Koyama

国内外を問わず、高等教育機関を取り巻く環境は厳しさを増しています。特に客観的なエビデンスに基づく大学経営、そして大学の最も重要な使命である教育について、自ら質保証することが強く求められるようになってきました。こうした要請に対応するため、山形大学では、国立大学で初めてエンrollment・マネジメントに取り組む等、2007年から学内外のデータを収集・分析し、IR業務に活用してきました。その取り組みの中で蓄積したノウハウ等を基に、このたび大学関係者等を対象とした「IR実践プログラム」を開講することといたしました。多くの方がこのプログラムにご参加くださり、日本の高等教育の更なる発展に繋がることを期待しています。

※IR (Institutional Research)とは…客観的なデータ分析に基づいた大学における諸活動の効果検証及び、情報提供等を通じた大学の意思決定又は業務の継続的改善を支援する機能のこと

[2019年12月より第1期生募集受付開始]

募集に係る詳細情報は、下記のホームページで2019年11月頃公表予定です。

- 開講期間：2020年5月～10月（毎月1回土・日曜2日間で計10時間の講習を6回実施）
- 開講場所：山形大学東京サテライト（東京都港区芝浦3-3-6 CIC 609号室）
- 募集人数：7名程度（書類審査等による選考あり）

→ 第2期は2020年11月より山形大学にて開講予定（詳しくは裏面をご確認ください）

お問い合わせ先

山形大学エンrollment・マネジメント部EM企画課
〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 TEL：023-628-4063 FAX：023-628-4144
E-mail：ir@jm.kj.yamagata-u.ac.jp <https://ir.yamagata-u.ac.jp>



IR担当者向け実践プログラム 4つのポイント

01

日本初のIR履修証明プログラム

IRに特化した日本初の履修証明プログラムです。修了者には、学校教育法に基づく履修証明書を交付します。

02

東京と山形の2会場で開講

東京都内(前期)及び山形大学(後期)の2会場で開講します。内容は同一ですので受講しやすい場所をお選びいただけます。

03

前期と後期の年間2サイクル開講

前期と後期の2サイクル開講により、業務の都合等で出席できない受講回があっても、柔軟な履修が可能です。

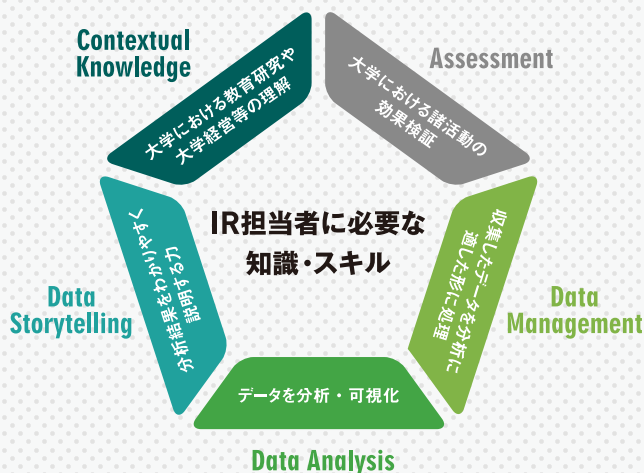
04

現場経験豊富な講師陣による指導

国内外の様々な高等教育関係機関で経験を積んだ講師陣となっています。より現場に即した指導が受けられます。

■本プログラムの到達目標

本プログラムでは、IR担当者に必要な5つの要素(高等教育機関を取り巻く文脈、効果検証・アセスメント、データマネジメント、データ分析、情報提供)の基礎的な知識・スキルの習得を目標としています。



■カリキュラム内容

IRに係る基本的な考え方を学ぶ「IR入門」、活用領域を扱う「IR応用」、データ分析及びBIツールの活用を学ぶ「データマネジメント&分析」に加え、これらの知識・スキルを実践する「IR実践」の4分野で構成します。

■総時間数：60時間(加えて、授業外課題等があります)

■受講対象者：大学関係者

■受講期間：6ヶ月

(土・日曜2日間で計10時間の講習を6回実施)

	期間	場所
第1サイクル(前期)	5月～10月(毎月1回)	東京都内(CIC)
第2サイクル(後期)	11月～2月(約3週おきに1回)	山形大学(小白川キャンパス)

※各サイクルの募集人数は7名程度

【受講料】※2020年度受講者限定

第1サイクル(前期)：150,000円(予定額)

第2サイクル(後期)：100,000円(予定額)

STAFF



ディレクター&主担当講師(山形大学 学術研究院 教授)
藤原 宏司 Koji Fujiwara

専門はIRと応用統計学。米国の大学でIR及び評価対応業務に従事。2016年8月から現職。現職ではBIを活用したIRシステムの構築等を担当。フロリダ州立大学大学院IR履修証明プログラム修了。



コーディネーター&主担当講師(山形大学 学術研究院 教授)
浅野 茂 Shigeru Asano

専門は経営学。大学及び評価機関双方で大学評価関連業務に従事。2015年4月から現職。現職では大学評価、IR及び質保証業務を担当。学外では中教審教学マネジメント特別委員会委員等として活動。



アドバイザー&副担当講師(明治大学 教学企画事務室)
山本 幸一 Koichi Yamamoto

大学院の専攻は公共経営学、政策評価。大学職員として中長期計画、大学評価、IRオフィスの設計、BIを用いたレポート作成を担当。学外では文部科学省や大学基準協会の各種調査活動に従事。



アドバイザー(大阪大学 高等教育・入試研究開発センター 特任教授)
川嶋 太津夫 Tatsuo Kawashima

専門は比較高等教育論。大学における学習成果測定の必要性をいち早く提唱。現職では高大接続、入試改革等の調査研究及び支援業務に従事。学外では中教審大学教育部会臨時委員等として活動。